

令和 6 年度

認知症看護認定看護師教育課程（入学選考試験問題）

専門科目 I：四肢択一

以下の問題について該当する番号を一つ選び、解答欄に記入しなさい。

**【問題 1】** わが国の高齢者に関する世帯状況（厚生労働省，令和 3 年国民生活基礎調査）  
について、正しいのはどれか。

1. 高齢者世帯は、全世帯の 2 割未満である。
2. 高齢者のいる世帯のうち、三世帯世帯の割合は横ばいで経過している。
3. 単独世帯高齢者は、夫婦のみの世帯を上回る。
4. 男性は年齢が高くなるにしたがい「配偶者のいない子と同居」の割合が高くなる。

**【問題 2】** わが国の高齢者人口の特徴として、正しいのはどれか。

1. 2025 年には全国民の 3 人に 1 人が 75 歳以上になると予測されている。
2. 2025 年には 65～74 歳の高齢者の人口は減少する。
3. 100 歳以上の高齢者は 2019 年に 10 万人を超えた。
4. 2022 年の高齢化率は 3 割を上回っている。

**【問題 3】** エリクソン（Erikson EH）が提示する老年期の発達課題について、正しいのは  
どれか。

1. 『統合』対『絶望』
2. 『親密』対『停滞』
3. 『勤勉性』対『罪悪感』
4. 『自主性』対『目的』

**【問題 4】** ハヴィガースト（Havighurst, R. J.）の老年期の発達課題について、誤って  
いるのはどれか。

1. 肉体的な力と健康の衰退への適応
2. 余暇活動の充実
3. 引退と収入の減少への適応
4. 社会的・市民的義務を引き受けること

**【問題 5】** 高齢者の健康障害の特徴について、誤っているのはどれか。

1. 複数の疾患に罹患しやすい。
2. 症候・症状が非定型的である。
3. 個人差が大きい。
4. 薬物有害反応は出現しにくい。

**【問題 6】** 加齢に伴う視覚機能・構造の変化について、正しいのはどれか。

1. 水晶体が薄くなる。
2. 下部の視野が障害される。
3. 青色光が見えにくくなる。
4. 明暗順応の時間が短縮する。

**【問題 7】** 加齢に伴う聴覚機能・構造の変化について、正しいものはどれか。

1. 聴覚神経の細胞数は保持される。
2. 難聴は片側性に起こる。
3. 低音域の聴力が障害される。
4. 音の快適レベルの幅が狭くなる。

**【問題 8】** 加齢に伴う外皮系の機能・構造の変化について、正しいのはどれか。

1. 静菌・緩衝作用は低下する。
2. 爪の伸長速度は加速する。
3. 汗腺の数は増加する。
4. かゆみの閾値は上昇する。

**【問題 9】** 加齢に伴う呼吸器系の機能・構造の変化について、誤っているのはどれか。

1. 1 秒率が低下する。
2. 残気量が低下する。
3. 気道クリアランスの効率が低下する。
4. 胸郭コンプライアンスが低下する。

**【問題 10】** 加齢に伴う循環器系の機能・構造の変化について、正しいのはどれか。

1. 弁膜に石灰化が生じる。
2. 脈拍数が増加する。
3. 心臓の容積が減少する。
4. 血液凝固能が低下する。

**【問題 11】** 加齢に伴う泌尿器系の変化について、正しいのはどれか。

1. 膀胱容量が増加する。
2. 夜間の抗利尿ホルモンの分泌が増加する。
3. 糸球体濾過率が低下する。
4. 骨盤底筋群が収縮する。

**【問題 12】** キャッテル (Cattell RB) が提案した知能の説明について、正しいのはどれか。

1. 知能は加齢に伴い低下する。
2. 結晶性知能は問題解決や空間認知、情報処理速度の向上に関する能力である。
3. 流動性知能は 60 歳前後で発達のピークを迎える。
4. 社会参加によって能力を維持することができる。

**【問題 13】** 加齢によって機能が低下する記憶の種類について、正しいのはどれか。

1. エピソード記憶
2. 意味記憶
3. 手続き記憶
4. プライミング記憶

**【問題 14】** 厚生労働省「身体拘束ゼロへの手引き－高齢者ケアに関わるすべての人に－」において、「緊急やむを得ない場合」の要件に該当しないのはどれか。

1. 切迫性
2. 安全性
3. 非代替性
4. 一時性

**【問題 15】 成年後見制度について、正しいのはどれか。**

1. 法定後見制度は、補助、保佐と後見の3類型に分かれる。
2. 法定後見制度の申立てができるのは、本人と家族である。
3. 任意後見制度では、判断能力が低下した後に後見人を選び契約する。
4. 市民後見人は市町村長により選出される。

**【問題 16】 高齢者虐待防止法について、正しいのはどれか。**

1. 高齢者虐待には5つの種類がある。
2. セルフ・ネグレクトも含まれる。
3. 通報にあたり個人情報保護法を遵守することが定められている。
4. 養護者への支援について言及している。

**【問題 17】 介護保険制度について、正しいのはどれか。**

1. 要介護状態にある人の尊厳の保持と自立生活支援を目的とする。
2. 第1号被保険者は40歳以上65歳未満の医療保険加入者である。
3. 要介護認定は5つの段階で区分される。
4. 介護保険サービスの利用者負担は一律3割である。

**【問題 18】 「認知症施策推進大綱」について、正しいのはどれか。**

1. 「7本の柱」を施策の主軸としている。
2. 「初期集中支援チーム」は、認知症の軽度の状態にある人を対象としている。
3. 認知症サポーターを中心とした「チームオレンジ」の構築が示されている。
4. 「認知症対応力向上研修」は、医療機関に勤務する看護職が対象である。

**【問題 19】 アドバンス・ケア・プランニング (Advance Care Planning) の考え方について、正しいのはどれか。**

1. ACPは終末期を迎えることが予測される際に行われる。
2. 治療やケアの選択は随時見直される。
3. 本人の意思の確認が困難な場合は家族の意志が優先される。
4. 意思決定能力が低下した場合の代理判断者の決定は含まれない。

**【問題 20】** 地域包括ケアシステムについて、正しいのはどれか。

1. 高齢者が自立した生活を営むための全国一律の支援体制である。
2. 支援・サービスを受ける場所は、住まいと医療機関である。
3. 医療・介護・予防・福祉・住まい・生活支援が包括的に提供される仕組みである。
4. 2030年までに、地域におけるサービス提供体制を構築する。

**【問題 21】** 脳の機能と症状の組み合わせで、正しいのはどれか。

1. 前頭葉体性感覚野 — 空間認知障害
2. 頭頂葉視覚野 — 失認
3. 後頭葉聴覚野 — 幻聴
4. 側頭葉ウェルニッケ中枢 — 感覚性失語

**【問題 22】** せん妄の特徴について、正しいのはどれか。

1. 緩徐に発症する。
2. 症状に変動がみられる。
3. 注意力は保たれている。
4. 症状は不可逆的である。

**【問題 23】** 老年期うつ病が疑われるもので、正しいのはどれか。

1. 物忘れの自覚がない。
2. 質問に対して取り繕う。
3. 身体的不調を訴えることが多い。
4. 近似記憶と遠隔記憶に差がない。

**【問題 24】** 軽度認知機能障害（MCI : Mild Cognitive Impairment）について、誤って  
いるのはどれか。

1. 全般的な認知機能が障害されている。
2. 年齢や教育レベルとは関連しない認知機能の低下がある。
3. 本人が症状について自覚している
4. 正常状態に回復する場合もある。

**【問題 25】DSM-5 (精神疾患の診断・統計マニュアル) における認知症の定義について、正しいのはどれか。**

1. 認知領域は、実行機能、学習性および記憶、言語、知覚—運動、失行、失認の 6 つである。
2. 1 つ以上の認知領域で以前の認知機能より低下する。
3. 記憶障害があることが前提である。
4. 知的機能障害により社会生活に支障はあるが日常生活に支障はない。

**【問題 26】認知機能障害の評価スケールについて正しいのはどれか。**

1. 質問式評価尺度では、家族からの情報が必要である。
2. 観察式評価スケールでは、本人が拒否的であっても実施可能である。
3. Mini-Mental State Examination(MMSE)は重症度を判定する。
4. Clinical Dementia Rating (CDR) は施行者による結果のばらつきがない。

**【問題 27】長谷川式簡易知能評価スケール改訂版 (HDS-R) の説明で、正しいのはどれか。**

1. 10 項目の質問で構成されている。
2. 動作性検査 (文章記述・図形模写) が含まれている。
3. 21 点以上が非認知症とされている。
4. 教育歴が検査結果に影響する。

**【問題 28】認知症の頭部画像検査について、誤っているのはどれか。**

1. 磁気共鳴断層撮影 (MRI) は、脳の血管走行をみる。
2. コンピューター断層撮影 (CT) は、脳の形状をみる。
3. 陽電子放射線断層撮影 (PET) は、脳の糖代謝をみる。
4. 単一光子放射線断層撮影 (SPECT) は、脳の血流をみる。

**【問題 29】** 早期に治療を行えば治癒する可能性の高い認知症の原因疾患として、正しいのはどれか。

1. ビンスワンガー病
2. 脊髄小脳変性症
3. 慢性硬膜下血種
4. 進行性核上性麻痺

**【問題 30】** アルツハイマー型認知症について、正しいのはどれか。

1. 後頭葉の血流低下を認める。
2. 手続記憶は中等度でも保たれる。
3. 被害妄想が主症状である。
4. 初期からコミュニケーション能力が低下する。

**【問題 31】** 血管性認知症の特徴について、誤っているのはどれか。

1. 発症初期から複雑性注意障害や実行機能障害を生じることが多い。
2. 最も多い病型は多発梗塞性認知症である。
3. 男性の発症率が高い。
4. 感情障害が多い。

**【問題 32】** 前頭側頭型変性症の特徴について、正しいのはどれか。

1. MIBG 心筋シンチグラフィで MIBG 集積低下を認める。
2. 病初期から記憶障害を認める。
3. レム睡眠障害による生活リズムの乱れがある。
4. 反社会的行動や食行動異常を示す。

**【問題 33】** レビー小体型認知症について、正しいのはどれか。

1. SPECT で側頭葉前部の血流低下を認める
2. 緩徐に進行する。
3. 重度な抗精神病薬への過敏性を認める。
4. 著しく病識が欠如する。

**【問題 34】 認知症の行動・心理症状（Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia）について、正しいのはどれか。**

1. 徘徊や興奮などの過活動状態の症状を分類したものである。
2. 中核症状に伴って必ず生じる二次的な症状である。
3. 症状の治療は、薬物療法が第一選択となる。
4. 症状は、家族や介護者の関り方が影響する。

**【問題 35】 抗認知症薬について、正しいのはどれか。**

1. ドネペジル塩酸塩とリバスチグミンは併用が可能である。
2. ガランタミンは貼付剤である。
3. コリンエステラーゼ阻害薬の主な副作用はめまいや頭痛である。
4. メマンチンは中等度から高度のアルツハイマー型認知症に適応となる。

**【問題 36】 認知症高齢者への看護の基本として、適切でないのはどれか。**

1. 個人の背景や環境などの統合的なアセスメントを行う。
2. 訴えや想いを表出できない認知症者の代わりに意思決定する。
3. 本人の「できる力」に視点をおいた支援を行う。
4. 生活全体の活動と休息のバランスを整える。

**【問題 37】 認知症高齢者の支援の在り方として、適切なのはどれか。**

1. できていないことを指摘し失敗しないようにする。
2. 決められたルールを理解し、守ることができるように繰り返し説明する。
3. 生活史や生活歴から、生活の継続性を保つ。
4. 日常生活でも決めることが難しい場合は、複数の選択肢を提供する。

**【問題 38】 アルツハイマー型認知症の進行に伴うコミュニケーションの特徴について、誤っているのはどれか。**

1. 初期では、物の名前がすぐに出ないが増える。
2. 中期では、抽象的な表現が難しくなる。
3. 中期では、感情の表現がなくなる。
4. 後期では、文法や語法が失われる。



**【問題 39】** 入院した認知症者の環境調整について、正しいのはどれか。

1. 他者との交流を図るために、食堂は広いスペースを確保する。
2. 安全の確保のために、自宅からの持ち物は最小限にする。
3. ナースコールやスタッフの声などが聞こえないように看護室から遠い病室にする。
4. 時計を見える位置に配置し、適宜時間情報を提供する。

**【問題 40】** 興奮している認知症高齢者への関わり方で適切なのはどれか。

1. 興奮している理由を詳細に聞く。
2. ゆっくりわかりやすい言葉で接する。
3. 他の患者を早急に遠ざける。
4. 休めるように個室に移動し1人にする。

**【問題 41】** 着衣の着方がわからない認知症者への援助で適切なのはどれか。

1. 全て介助する。
2. 一連の動作を口頭で説明する。
3. 洋服の着方をモデルで示し、動作のきっかけを支援する。
4. 次の動作を指示する。

以下の事例を読み、【問題 42】～【問題 44】について該当する番号を一つ選び、解答欄に記入しなさい。

A氏は76歳男性。妻と2人暮らしである。半年ほど前より、夜間寝ている時に突然大声で叫んだり、暴れてベッドから転落したりということがあった。また、その頃より「知らない子供が家の中に入って来て困る」と、警察に駆け込むことがあり、妻の付き添いで認知症疾患医療センターを受診し認知症と診断された。介護保険を申請し、要支援2となり通所介護を利用しながら生活をしていた。しかし、椅子から立ち上がる際に、ふらついて室内で転倒することが多くなっていた。妻の介護負担が増強したため、施設入所となった。

**【問題 42】** A氏の自宅での下線部の症状で、もっとも考えられるのはどれか。

1. 幻覚
2. レム睡眠時行動障害
3. 誤認妄想
4. 薬剤過敏性

**【問題 43】** A氏の認知症の自律神経系の症状として、もっとも考えられるのはどれか。

1. 起立性低血圧
2. 運動麻痺
3. 動悸
4. 四肢の冷汗

**【問題 44】** A氏が介護保険を利用して入所できる施設は次のうちどれか。

1. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
2. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
3. 介護老人保健施設
4. 介護療養型医療施設

以下の事例を読み、【問題 45】～【問題 47】について該当する番号を一つ選び、解答欄に記入しなさい。

B氏は82歳女性。娘夫婦と3人暮らしである。料理づくりが趣味であり食事の支度はB氏の日課であった。しかし、3か月前より料理の味付けが濃くなり、①得意であった煮物づくりの手順がわからなくなることがしばしばみられるようになった。1週間前より鍋を焦げ付かせたりするようになり、もの忘れ外来を受診し、アルツハイマー型認知症と診断された。受診時の診察場で「今日は何月何日ですか」と尋ねると②「今日は新聞も見てこなかったの」と言った。

【問題 45】 下線部①の症状として、正しいのはどれか。

1. 遂行機能障害
2. 空間認知障害
3. 記銘力障害
4. 即時記憶障害

【問題 46】 下線部②の症状として、正しいのはどれか。

1. 意味記憶障害
2. 見当識障害
3. 取り繕い
4. 脱抑制

【問題 47】 家族への助言として、適切なのはどれか。

1. 料理の手順をさりげなく声掛けをしながら促すように指導した。
2. 包丁は危険なので、本人の目の届かないところに片付けるように勧めた。
3. 料理は娘が行うように指導した。
4. 失敗をしたらその場で注意するように指導した。

以下の事例を読み、【問題 48】～【問題 50】について該当する番号を一つ選び、解答欄に記入しなさい。

C氏は64歳男性。1年前より徐々に性格に変化がみられ、被害妄想的な発言が多くなり、定年前に退職をした。1か月前より①思い通りにならないと興奮して妻に暴力を振るようになったり、スーパーで万引きをして警察に保護されていることがあり、精神科を受診したところ認知症と診断され、入院となった。

入院後、②毎日同じ時間に病棟内の廊下を歩き回り、いつも座っている場所に他の患者が座っていると大声で怒鳴りトラブルを繰り返していた。また、食事の際には他の患者の食事を食べたり、食事をかき込み窒息することがあった。

【問題 48】下線部①の症状として、正しいのはどれか。

1. 脱抑制
2. 失認
3. 失行
4. ものとられ妄想

【問題 49】下線部②の症状として、正しいのはどれか。

1. 歩行障害
2. 徘徊
3. 常同行動
4. 複雑性注意障害

【問題 50】C氏への看護として、適切でないのはどれか。

1. 病室内の往復など同じ行動を繰り返すため、危ないのでやめさせようと注意した。
2. 食事を小分けにした。
3. 本人と一日のスケジュールを一緒に考えた。
4. 本人の座る場所を確保した。